



2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ウエストホールディングス
 コード番号 1407 URL <http://www.west-gr.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江頭 栄一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 椎葉 栄次 (TEL) 03-5358-5757
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	13,907	1.9	1,233	81.9	1,123	98.5	754	97.1
2019年8月期第1四半期	13,646	97.3	677	—	565	—	382	—

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 772百万円(106.6%) 2019年8月期第1四半期 373百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	30.86	—
2019年8月期第1四半期	15.14	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	77,754	17,256	22.2
2019年8月期	82,162	17,584	21.4

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 17,240百万円 2019年8月期 17,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,623	△0.7	2,148	5.6	1,848	1.6	1,184	△1.0	48.45
通期	72,845	14.0	6,740	14.9	6,140	13.2	3,955	8.9	161.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期1Q	27,235,200株	2019年8月期	27,235,200株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	2,782,470株	2019年8月期	2,782,470株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期1Q	24,452,730株	2019年8月期1Q	25,295,262株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、輸出・生産面に海外経済の減速の影響がみられるものの、基調としては緩やかに拡大しております。個人消費は、消費税増税に伴う不透明感はあるものの、雇用・所得環境の着実な改善を背景に緩やかに増加しております。公共投資も高めの水準を維持しつつ、横ばい圏内で推移しております。

世界エネルギー市場においては、2015年の「パリ協定」採択を契機とした環境意識の高まりがより一層加速しております。機関投資家は欧米のみならず我が国においても「ESG投資」に多額の資金を振り向け始め、企業側にとっては「SDGs」への取り組みの重要性がますます高まっております。その中でも自社消費電力の再生可能エネルギー調達へのシフトはRE100参加企業等の一部の大企業のみならず、サプライチェーンに関連する多くの企業にとっても重要課題と位置付けられていく見通しです。

このような状況の中、当社グループは地域の金融機関とのアライアンスを強化し、地元企業や地方自治体向けに従来から行っている太陽光発電システムの材料調達・施工・販売・O&M（オペレーションアンドメンテナンス、以下O&M）の創エネ事業を推進する中で、LED照明や空調設備による省エネ事業、電力小売事業などトータルエネルギー事業への展開を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高13,907百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益1,233百万円（前年同四半期比81.9%増）、経常利益1,123百万円（前年同四半期比98.5%増）及び親会社株主に帰属する四半期純利益754百万円（前年同四半期比97.1%増）を計上いたしました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、セグメント別の金額については、売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額であります。

① 再生可能エネルギー事業

産業用太陽光発電事業におきましては、ESG等の世界的な再生可能エネルギーへの取り組みも後押しし受注増加が見受けられました。メガソーラー事業におきましては、今後5年間のメガソーラープロジェクトについても期中に新たに獲得した案件を含め200MWを超える施工計画を順次着手してまいります。総発電コストの削減に関しては、住宅用からメガソーラーに至るまで、世界全域から品質を維持した商材の調達と数多くの設置実績の経験値を活かしてトータルコストの低減を図ってまいりました。今後、FIT価格に左右されないよう、総発電コストのより一層の削減を図りつつ、自家消費型モデル及びソーラーシェアリング型モデルの新たな構築を推進してまいります。

以上の結果、売上高5,052百万円（前年同四半期比24.5%増）、営業利益411百万円（前年同四半期は営業損失23百万円）となりました。

② 省エネルギー事業

提携金融機関とのアライアンスによる情報を活用し、商業施設や工場・病院などのエネルギーを大量に消費する施設に対して、省エネのトータルサービスを提供し、省エネ効果によりお客様に初期費用の負担が生じないウエストエスコ事業の受注拡大に努めてまいりました。

このウエストエスコ事業については、施工実績が増加することにより、LED照明は5年から7年、空調設備は10年から12年にわたって収益を計上するストックビジネスのため、着実な施工実績の積み上げにより売上高及び営業利益は増加しております。

以上の結果、売上高499百万円（前年同四半期比23.7%増）、営業利益111百万円（前年同四半期比103.5%増）となりました。

③ 電力事業

電力の小売事業は、トータルエネルギーソリューション事業の一環として、太陽光発電システムと省エネ機器更新をセットにし販売しております。電源調達につきましては、日本卸電力取引所からの調達比率を下げ、電力会社や大手商社からの相対取引契約を締結し、夏場・冬場の市場高騰リスクを回避し、新規受注活動においては、旧一般電気事業者や競合先との競争が激化している状況下においても新規提携金融機関の増加を背景に、販売先数は前年同四半期末8,069件より当四半期末12,892件と、順調に法人へ電力の供給をしております。一方で電力販売量は気温等の影響から前年対比で減少いたしました。自社売電事業については、約65MWの発電所を保有しており、将来の安定収入として売上高及び利益の確保が見込まれます。

以上の結果、売上高8,092百万円（前年同四半期比9.7%減）、営業利益436百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

④ メンテナンス事業

当社グループにて企画・設計・施工を行ったメガソーラー発電所を中心に、安定した売電収入を得られることを目的として施設の継続的なメンテナンスを行い、太陽光発電所のオーナー様へ安全・安心・感動を提供し、受注実績を積み上げてまいりました。契約総件数は1,113件（2019年11月末）と着実に増加しております。

以上の結果、売上高314百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益86百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

⑤ その他

その他の売上高0百万円（前年同四半期比18.3%減）、営業利益0百万円（前年同四半期比18.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比4,408百万円減少し77,754百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末比4,080百万円減少し60,497百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末比327百万円減少し17,256百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

資産の減少の主な要因は、完成工事未収入金4,126百万円、受取手形及び売掛金1,512百万円がそれぞれ減少した一方で、未成工事支出金1,923百万円が増加したことによるものであります。

負債の減少の主な要因は、借入金1,260百万円、支払手形及び買掛金993百万円、工事未払金791百万円、未払法人税等737百万円がそれぞれ減少したことによるものであります。

純資産の減少は、親会社株主に帰属する四半期純利益を754百万円計上した一方、配当金の支払1,100百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の連結業績予想につきましては、2019年10月11日付「2019年8月期 決算短信」において公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,883	33,972
受取手形及び売掛金	8,296	6,783
リース債権	3,073	3,383
完成工事未収入金	5,280	1,154
商品	1,933	918
販売用不動産	2,657	2,546
未成工事支出金	9,422	11,345
原材料及び貯蔵品	5	18
その他	1,663	1,710
貸倒引当金	△135	△169
流動資産合計	66,083	61,663
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	9,853	9,710
その他(純額)	3,673	3,827
有形固定資産合計	13,526	13,538
無形固定資産		
	156	147
投資その他の資産		
投資有価証券	457	464
長期貸付金	134	132
繰延税金資産	573	573
その他	1,298	1,306
貸倒引当金	△66	△71
投資その他の資産合計	2,396	2,405
固定資産合計	16,079	16,091
資産合計	82,162	77,754

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,021	4,027
工事未払金	1,514	723
1年内償還予定の社債	400	400
短期借入金	14,802	14,675
未払法人税等	1,128	390
完成工事補償引当金	652	639
その他	4,962	4,695
流動負債合計	28,483	25,552
固定負債		
社債	150	150
長期借入金	34,853	33,719
資産除去債務	619	621
繰延税金負債	45	45
その他	427	408
固定負債合計	36,095	34,945
負債合計	64,578	60,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,020	2,020
資本剰余金	728	728
利益剰余金	17,420	17,075
自己株式	△2,542	△2,542
株主資本合計	17,627	17,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△72	△54
繰延ヘッジ損益	15	16
為替換算調整勘定	△1	△1
その他の包括利益累計額合計	△58	△40
非支配株主持分	15	15
純資産合計	17,584	17,256
負債純資産合計	82,162	77,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	13,646	13,907
売上原価	11,504	11,170
売上総利益	2,142	2,736
販売費及び一般管理費	1,464	1,503
営業利益	677	1,233
営業外収益		
受取利息	2	3
貸倒引当金戻入額	—	2
その他	9	4
営業外収益合計	12	10
営業外費用		
支払利息	103	119
その他	21	0
営業外費用合計	124	120
経常利益	565	1,123
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	565	1,123
匿名組合損益分配額	7	△2
税金等調整前四半期純利益	558	1,125
法人税等	175	370
四半期純利益	383	754
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	382	754

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	383	754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	17
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	△9	17
四半期包括利益	373	772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373	772
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	再生可能 エネルギー 事業	省エネル ギー事業	電力事業	メンテナ ンス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,055	403	8,962	225	13,646	0	13,646	—	13,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	1	67	73	—	73	△73	—
計	4,059	403	8,963	292	13,719	0	13,719	△73	13,646
セグメント利益又は損 失(△)	△23	54	451	96	579	0	579	98	677

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額98百万円には、固定資産の未実現利益消去31百万円、本社費用の配賦差額66百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	再生可能 エネルギー 事業	省エネ 省エネルギー 事業	電力事業	メンテナ ンス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,051	499	8,091	264	13,907	0	13,907	—	13,907
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	50	51	—	51	△51	—
計	5,052	499	8,092	314	13,959	0	13,959	△51	13,907
セグメント利益	411	111	436	86	1,047	0	1,047	186	1,233

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額186百万円には、固定資産の未実現利益消去31百万円、本社費用の配賦差額154百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 所有目的の変更により、販売用不動産の一部を有形固定資産に振替いたしましたましたが、この変更に伴うセグメント利益に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。